「地域包括支援におけるアドバンス・ケア・プランニング（Advance Care Planning：ACP）連携システム構築を目指した予備的調査」に関するお知らせ

このたび、アドバンス・ケア・プランニング（Advance Care Planning：以下、ACP）を確実に地域へつなぐ基盤を作るための事前調査を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では患者さんにご協力をお願いすることはありません。
調査は、医療従事者を対象に実施され、調査用紙の記入におよそ 5 分程度要するため、回答に際する時間的な負担をおかけする可能性があります。

研究の概要について

１．研究の対象となる方

当院で ACP を実施した患者について調査しています。調査では、転院等の連携後、連携施設の医師・看護師も調査対象とし、該当患者の ACP 後の経過についてアンケートを用いて、情報提供を受けます。

２．研究の目的

厚生労働省は、2025 年をめどに、高齢者が可能であれば最期まで住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう地域の体制として、「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。当院は、地域がん診療連携拠点病院（高度型）であり、地域の特性を捉えた地域連携協力体制の構築の役割があります。私どもの地域において、がんと共に生きる人がそれぞれに望む支援が提供されるよう、ACP で示された価値観に基づいて、包括的な支援があらかじめ準備されていることが求められています。そのため、患者さん・ご家族・医療者にとってそれぞれの療養の場で行われる ACP を確実につなぎ、患者さんやご家族の価値観に基づいた満足のいくケアが提供されることが望ましいと考えます。そこで、地域包括ケアシステムに ACP を含めた支援の構築を最終的な目的とし、ACP を確実に地域へつなぐ基盤のための予備的調査を実施します。

３．研究期間

病院長の許可後～2025 年 3 月 31 日

研究に用いる試料・情報について

１．試料・情報の内容

当院でこれまで ACP を実施した患者さんの情報（年齢・性別・病名・医療連携施設・転帰）
この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学国際医療センター】において、研究責任者である矢吹　みどりが、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、

患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。また、連携後の医療従事者に対しては、連携患者さんの、連携後の調査（ACP 記録用紙の活用について、ACP 記録用紙の多職種での共有について、ACP 記録用紙に記載された項目で役立った点、ACP 記録用紙に記載された内容が役立った理由・場面、ACP 記録用紙に追記すべき項目、ACP 記録用紙の情報量、ACP 継続回数、転帰）を行う。また、回答者の職種、所属する部署について調査する。
また、連携後の紹介施設の医療従事者より、上記内容について、アンケートを用いて回答を得ます。

２．試料・情報の取得方法

※当院でこれまで ACP を実施した患者さんの情報（年齢・性別・病名・医療連携施設・転帰）をカルテより抽出します

３．試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター緩和ケアセンター緩和ケアチーム	矢吹みどり（研究代表者）
埼玉医科大学国際医療センター緩和ケアセンター緩和ケアチーム	近藤 夏貴
埼玉医科大学国際医療センター教育支援センター	樫原由紀乃
埼玉医科大学国際医療センター緩和ケアセンター緩和ケアチーム	大関ちはや
埼玉医科大学国際医療センターがん相談支援センター	塩井厚子
埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科	石田真弓
埼玉医科大学国際医療センター支持医療科	高橋孝郎

４．試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター緩和ケアセンター緩和ケアチーム　矢吹みどり

お問い合わせについて

ご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター　緩和ケアセンター　緩和ケアチーム
研究責任者　矢吹　みどり
〒350-1298　埼玉県日高市山根 1397-1
042-984-4126　（緩和ケアセンター直通）
（対応可能時間帯：平日　8：30～17：30）

〇研究課題名：「地域包括支援における ACP 連携システム構築を目指した予備的調査」

〇研究責任者: 埼玉医科大学国際医療センター　緩和ケアセンター　緩和ケアチーム
矢吹　みどり